

2015 年度・事業計画書

1. 基本方針

- A) 弊財団の立ち位置のユニークさの訴求を通じて、発災後 5 年目になるのを踏まえ、更に次の 5 年間の基礎を構築する。
- B) 既存事業の報告書の取りまとめと成果の発信、その実績をもとにした新規の資金調達へ向けた各種取組みを多様なアプローチを通じて取組む。

2. 事業計画：

A) 資金提供事業の実施：

- ① SCJ 事業：こども☆はぐくみファンド
 - 採択団体への支援プログラムの実施（個別支援、集合研修等）
 - 事業報告書の受領、報告書の作成
- ② SCJ 事業：フクシマ ススム プロジェクト
 - 事業報告書の受領、報告書の作成
 - 採択団体への支援プログラムの実施（個別支援、集合研修等）
- ③ JS 事業：ジャパン・ソサエティ 東日本大震災復興基金
 - 事業報告書の受領、報告書の作成
- ④ 中小企業庁「地域需要創造型等起業・創業促進事業」（創業補助金）
 - 事業完了後の検査事務の実施
- ⑤ 地福寺出開帳 両国回向院 復幸支縁基金
 - 総額 800 万円〔助成原資 700 万円〕※予定
- ⑥ アーツエイド東北・芸術文化支援事業
 - 総額 150 万円〔助成原資 130 万円〕※予定

B) 助成事業

- ① JCIE 事業：〔500 万円〕日本国際交流センター（申請中/2 期 2 年間の 1 年目）
 - 資金調達・寄付者対応担当者の雇用
 - 資金調達事業の実施
 - 調査事業の実施
- ② FILF 事業：〔6.5 万ドル/ 520 万円〕
フィディリティ証券財団（既決/6 か月）
 - 資金調達担当者の人件費支出
 - 複数県での資金調達活動の取組み

C) 協働資金調達型事業

- ① 特定テーマ型の試行：寄付獲得目標、年間 1 億円
- ② 特定事業・団体型の試行：寄付獲得目標、年間 5 千万円

D) 資金調達事業の実施

- ① ドナーの開発や関係構築を通じ、資金調達につながる企画・協働提案を行う
- ② 融資事業に関する資金の調達
- ③ 融資事業の採算や体制等の検討。パイロット事業の実施も。
- ④ 投資信託や、遺贈寄付等、既存の金融機関や関係機関との連携・展開
- ⑤ 東北内外の個人や企業への働きかけの実施

E) 広報の強化

- ① 会報の定期発行：季刊を目安に、紙+PDF 版の発行/A3・2つ折り
- ② ウェブサイトの改定：トップページのリニューアルの実施

F) 調査研究

- ① 「(仮称) さなぶり総研」という組織内プロジェクトの立ち上げ
 - 民間の財団や企業の支援意向に関する調査
 - アンケートとインタビュー：財団 (N=約 20)、企業 (N=300)
 - 行政の資金補助事業に関するコミュニティ財団の活用に関する事例調査 (英国)
 - 電話等によるインタビュー：英国の 2 つのコミュニティ財団
 - 協力依頼：UK Community Foundations
 - 全国のコミュニティ財団・ファンドに関わる調査
 - 一般社団法人 全国コミュニティ財団協会の事業として
 - 基本方針：既存の調査・統計等を基礎とした調査レポートの作成を中心に、部分的に 1 次情報の収集を行う。
 - 体制：当面専任はおかず、客員研究員を中心に行う。

G) 職員の研修

- ① 各種研修を行い技能の向上に努める。

以上